

○東北地方の地震活動

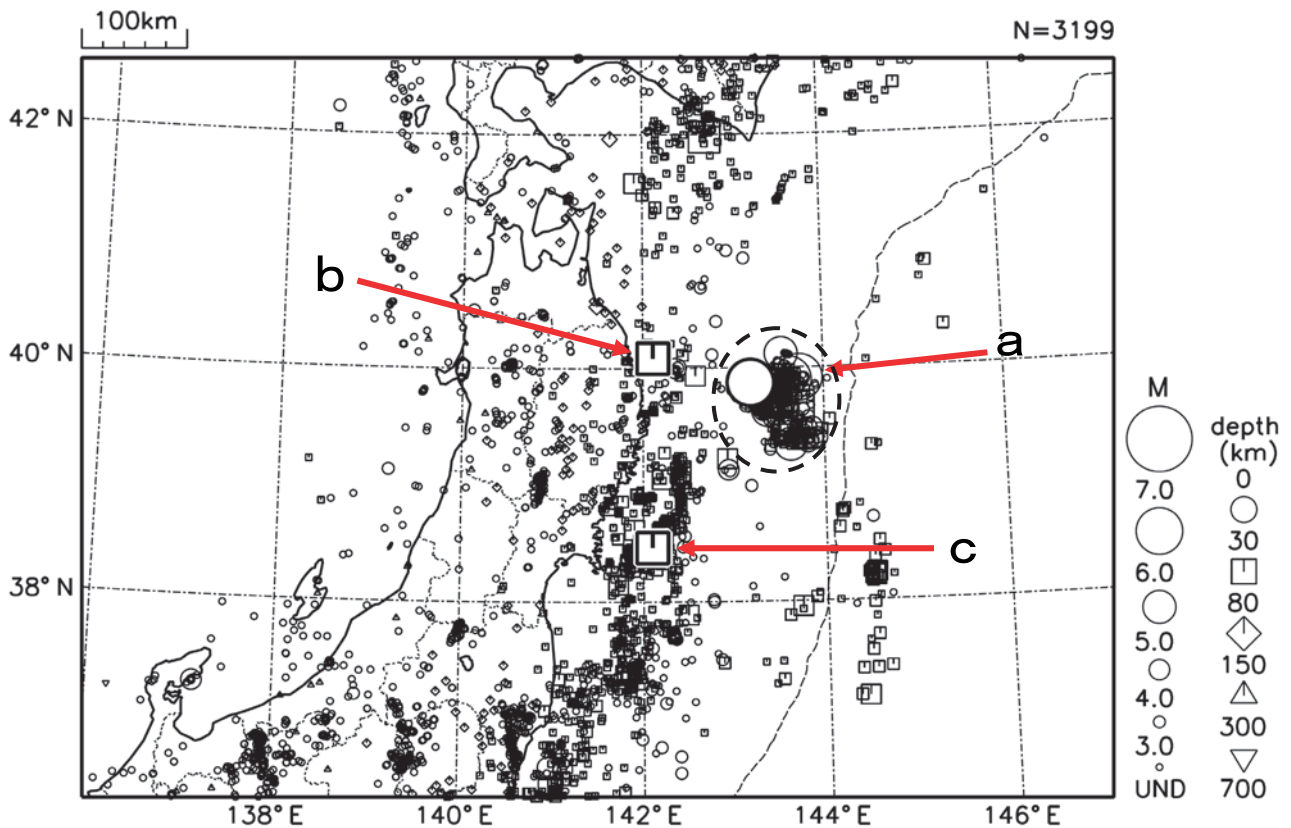


図5 東北地方の震央分布図（2015年2月1日～2月28日）

〔概況〕

2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は60回（1月は53回）であった。
2月中の主な活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（図5、p.11参照）。

17日08時06分に三陸沖（図5中の領域a）でM6.9の地震が発生し、青森県、岩手県、宮城県、秋田県で震度4を観測したほか、北海道から中部・東海地方にかけて震度3～1を観測した。この地震により、北海道から岩手県の太平洋沿岸で津波を観測した。

この地震発生以降、20日13時25分にM6.5の地震（最大震度3）、21日19時13分にM6.4の地震（最大震度2）が発生するなど、地震活動が活発になった（詳細は特集ページ（p.57～67）を参照）。

17日13時46分に岩手県沖の深さ50kmでM5.7の地震（図5中のb）が発生し、青森県階上町（はしかみちょう）で震度5強、岩手県普代村で震度5弱を観測したほか、北海道から関東地方にかけて震度4～1を観測した（p.6、12参照）。

26日10時11分に宮城県沖の深さ50kmでM5.0の地震（図5中のc）が発生し、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方の一部にかけて震度3～1を観測した（p.7、13参照）。